

香港株式市場フラッシュ

「中国製造 2025」と航空機、手術ロボット

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2023年6月7日号(6月7日作成)

”「中国製造2025」の概要”

2015年5月に発表された「中国製造2025」とは、2025年までに「製造強国への仲間入り」を果たし、2035年までの「世界の製造強国の中等レベルへの到達」を経て、中国建国100周年にあたる2049年までに製造大国の地位を固め「製造強国トップ」となることを戦略目標とした産業政策である。量で圧倒する「製造大国」に対し、テクノロジーに裏打ちされた質で勝負するのが「製造強国」という意味合いのようだ。「中国製造2025」が掲げる重点戦略の中に「重点分野における飛躍的発展の実現」という項目があり、ハイテク製造業である10分野に対して具体的に数値目標が設けられている。更に、イノベーションの向上のためDX(デジタル変革)に代表される「ITと製造業の融合」を推進する目的で「5大重点プロジェクト」を定めている。

「中国製造2025」と関連する国家戦略に「インターネットプラス」政策があり、ビッグデータやIoT等のIT技術との融合による新産業創出や生産性向上を目指している。

「中国製造2025」の概要

※「インターネットプラス」政策は関連分野

ハイテク 「10の重点分野」	5大重点プロジェクト	インターネットプラス 重点11分野
①次世代情報通信技術	①国家製造業イノベーションセンター設立	①創業・革新
②先端デジタル制御工作機械とロボット	②スマート・インテリジェント製造計画	②協同製造
③航空・宇宙設備	③工業基礎力強化	③現代農業
④演習建設機械・ハイテク船舶	④グリーン製造事業	④スマートエネルギー
⑤先進軌道交通設備	⑤ハイエンド設備イノベーション	⑤包摂金融
⑥省エネ・新エネルギー自動車		⑥公共サービス
⑦電力設備		⑦物流
⑧農業用機械設備		⑧電子商取引
⑨新材料		⑨交通
⑩バイオ医薬・高性能医療機械		⑩生態環境
		⑪人工知能

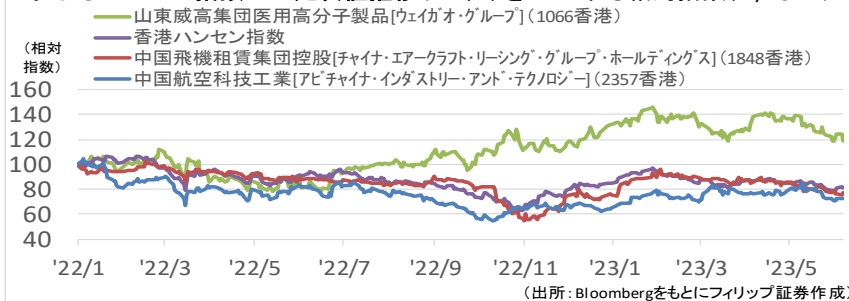
(各種報道をもとにフィリップ証券作成)

”航空機製造と医療手術ロボットで市場の評価が異なる”

ハイテク「10の重点分野」の「③航空・宇宙関連」に関し、中国初の国産中型ジェット旅客機「C919」が5/28、上海と北京を結ぶ便で商用旅行を開始。開発したのは国有系航空機メーカーの中国商用飛機(COMAC)だ。中国は商用航空機の引渡して世界の約2割を占めるとされている。COMACのほか、中国航空科技工業[アビチャイナ・インダストリー・アンド・テクノロジー](2357香港)のような航空機用機器・部品を扱うメーカーへの恩恵も期待される。また、中国商用飛機が開発したリージョナル機「ARJ21」も4/21、インドネシアで海外初の商業飛行を実施。運航したトランススサ航空は中国の航空機リース大手の中国飛機租賃集団[CALC](1848香港)が共同支配株主だ。

ハイテク「10の重点分野」の「⑩バイオ医薬・高性能医療機械」に関し、医療消耗品大手の山東威高集団医用高分子製品[ウェイガオ・グループ](1066香港)は2021年に国内企業として初めて中国保健当局から腹腔鏡手術支援ロボットの医療機器製品認可を取得。世界の手術ロボット市場を寡占する米インテリジェント・サージカルの「ダビンチ」に挑む構えだ。威高の製品はダビンチと比べて3D眼鏡をかけて操作することで医師の疲労が少なく、5G通信を使った遠距離手術での優位性や販売価格の安さでも強みがあるとされる。株価推移でも、航空機部品に占める海外企業比率が約4割を占める「C919」関連よりも、中国企業製医療ロボットの方が高評価のように見受けられる。

山東威高集団医用高分子製品、中国飛機租賃集団控股、中国航空科技工業、およびハンセン指数の日足終値推移(21年末を100とする相対指数、6/6まで)



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全94銘柄)における終値の2022年末来騰落率

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全94銘柄 ※12月13日より)

前回基準日: 20230523 基準日: 20230606

順位	2022年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	理想汽車	57.0	2
2	中国石油天然気 [ベトロチャイナ]	54.3	1
3	中国石油化工 [シノベック]	34.2	3
4	比亜迪 [BYD]	30.8	4
5	中国移動 [チャイナモバイル]	27.1	8
6	中芯国際集成电路製造 [SMIC]	26.8	13
7	中国海洋石油 [CNOOC]	22.4	5
8	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	21.7	7
9	HSBCホールディングス	21.6	6
10	網易 [ネットイース]	20.9	12

順位	2022年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
94	CG SERVICES (碧桂園服務)	-49.7	94
93	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-48.9	93
92	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-43.2	92
91	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-41.9	91
90	ビリビリ	-36.0	81
89	JDドットコム	-35.8	90
88	金蝶国際軟件集团[キングディー・ソフトウェア]	-33.0	89
87	東方海外国際[オリエン・オーバース]	-32.0	22
86	李寧[リーニン]	-31.7	87
85	JD Health International Inc (京東健康)	-31.4	88

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2023年4・5月中国主要経済指標】

- 5月27日(土)
 - ・1-4月工業利益: 前回▲21.4%、結果▲20.6%
- 5月31日(水)
 - ・5月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.2、結果48.8
 - ・5月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回56.4、結果54.5
- 6月1日(木)
 - ・5月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.5、結果50.9
 - ・5月(財新)サービス部門PMI: 前回56.4、結果57.1
- 6月7日(水)
 - ・5月外貨準備高: 前回3.204兆USD
 - ・5月貿易収支: 前回+902.1億USD
 - ・5月輸出<前年同月比>: 前回+8.5%
 - ・5月輸入<前年同月比>: 前回▲7.9%
- 6月9日(金)
 - ・5月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.1%
 - ・5月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲3.6%
- 6月9日(金)-15日(木)
 - ・5月資金調達総額: 前回1.220兆元
 - ・5月新規人民元建て融資: 前回7188億元
 - ・5月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+12.4%
- 6月15日(木)
 - ・5月小売売上高<前年同月比>: 前回+18.4%
 - ・5月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.6%
 - ・1-5月固定資産投資<前年同月比>: 前回+4.7%
 - ・1-5月不動産投資<前年同月比>: 前回▲6.2%
 - ・5月新築住宅価格<前月比>: 前回+0.32%
 - ・調査失業率: 前回5.2%
- 6月20日(火)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.65%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.30%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。